

## OHIM, ロシア特許商標庁との協力を促進

2011年7月7日

JETRO デュッセルドルフ事務所

OHIM（欧州共同体商標意匠庁）は、6月30日、ロシア特許商標庁（ROSPATENT）との協力を促進した旨、プレスリリースを行った。

ROSPATENT のシモノフ長官は、6月29～30日のOHIMへの訪問中に、正式に「商品役務表示の三庁リスト<sup>1</sup>」への参加に合意したほか、現在14庁が参加している商標データベース「TMview」および電子ビジネスツールに関する協力について議論を行った。

また、シモノフ長官は、ビデオ・インタビューにおいて「TMviewのようなプロジェクトは専門家だけでなく企業のユーザーにとっても非常に重要であり、我々は協力の一環としてTNviewのプロジェクトを実施する決意がある。」と述べており、「TMview」への積極的な姿勢を明らかにしている。さらに、OHIMとの将来の協力について「OHIMは我々にとって主要なパートナーであり、OHIMをロシアとEUとの対話における最も重要なパートナーに選択した。両庁の協力は、ロシアとEUだけではなく、世界的な協力にとって重要なシグナルを伝えるだろう。」とコメントした。

－ OHIMのプレスリリースは、以下参照 －

[OHIM and Russian IP office to step up cooperation](#)

－ TMviewに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[EUのオンライン商標検索システム「TMview」の概要（2011年4月23日）](#)

（以上）

---

<sup>1</sup> 日本国特許庁(JPO)、米国特許商標庁(USPTO)及び欧州共同体商標意匠庁(OHIM)の三庁が、海外で商標権を取得する出願人の手続負担の軽減等に資することを目的として、三庁が受け入れ可能な指定商品・役務に関する表示（英語のみ）をリストにしてまとめたもの。三庁以外では、これまでのところ、カナダ、韓国、メキシコ、フィリピン、シンガポールが三庁リストへの参加に合意している。